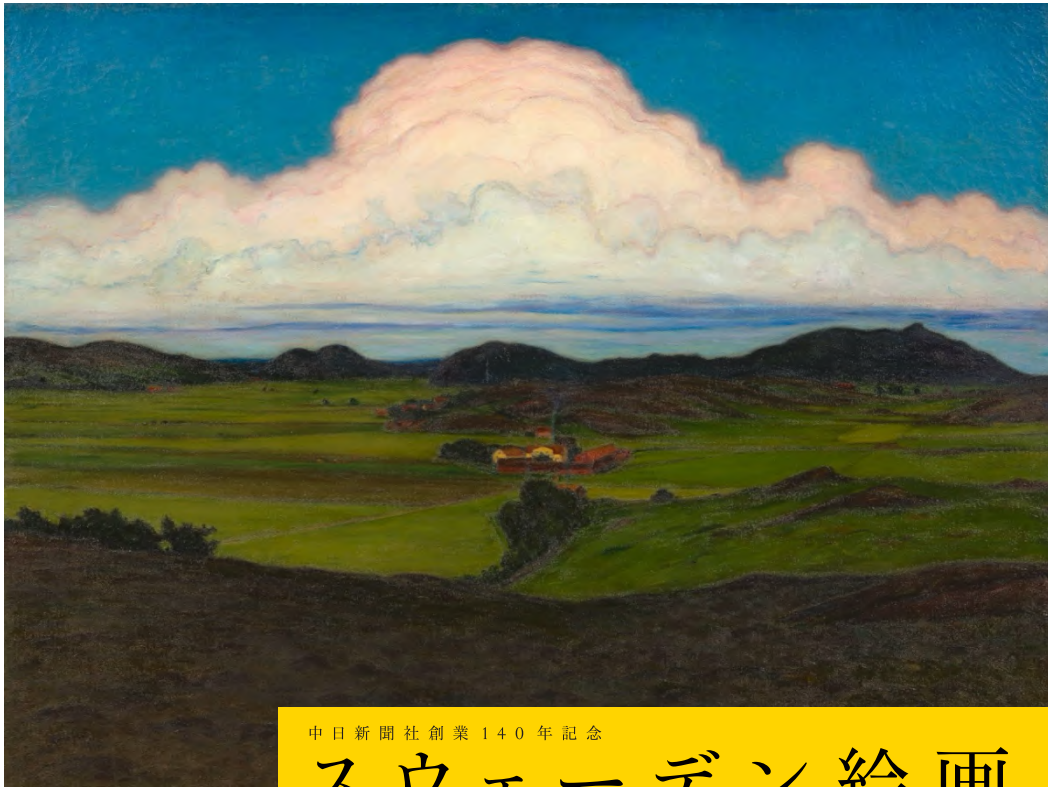


2026年4月23日  
愛知県美術館  
プレスリリース



中日新聞社創業140年記念

# スウェーデン 絵画

北 欧 の 光 、 日 常 の か が や き

## Masters of SWEDISH PAINTING

FROM NATIONALMUSEUM, STOCKHOLM

北欧の国、スウェーデン。本展は、近年世界的に注目を集める北欧美術の中でも、スウェーデンの絵画に特化した日本初の展覧会です。

1870年代後半、スウェーデンの若い芸術家たちはフランスに渡り、写実主義や自然主義、外光派の表現を学びました。しかし、次第にスウェーデンならではの絵画を描こうという思いを強めた画家たちは、故郷に帰り、北欧特有の風景や暮らしに目を向けます。日常にひそむさやかな喜びや、厳しくも美しい自然を詩情あふれる表現で描き出した画家たちの絵画は、のちの「スウェーデンらしさ」をかたちづくっていきました。

本展ではスウェーデン国立美術館の全面協力のもと、19世紀末から20世紀初頭にかけて制作された約80点の傑作をとおして、スウェーデン美術の「黄金時代」をご紹介します。

\*本展は「日本・スウェーデン文化科学交流年2026」の事業です。

カール・ノードシュトゥルム《テューン島のホーガ盆地》1897年 油彩、カンヴァス スウェーデン国立美術館蔵 Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

**m** national  
museum

apmoa  
aichi prefectural museum of art

AICHI ARTS CENTER

NHK 名古屋放送局

CHUNICHI  
創業140年 中日新聞社

- 展覧会名 | 中日新聞社創業 140 年記念  
スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき  
Masters of Swedish Painting from Nationalmuseum, Stockholm
- 会 期 | 2026 年 7 月 9 日 (木) ~ 10 月 4 日 (日)
- 開館時間 | 10:00-17:00 金曜日は 20:00 まで (入場は閉館の 30 分前まで)
- 休 館 日 | 月曜日 (ただし 7 月 20 日、8 月 10 日、9 月 21 日は開館)、  
7 月 21 日 (火)、9 月 24 日 (木)
- 会 場 | 愛知県美術館 [愛知芸術文化センター10 階]
- 主 催 | 愛知県美術館、NHK 名古屋放送局、NHK エンタープライズ中部、中日新聞社
- 協 賛 | DNP 大日本印刷
- 後 援 | スウェーデン大使館、JR 東海
- 特別協力 | スウェーデン国立美術館
- 協 力 | 全日本空輸、ルフトハンザ カーゴ AG
- 企画協力 | S2
- 巡回情報 | [東京会場] 東京都美術館 2026 年 1 月 27 日 (火) ~ 4 月 12 日 (日)  
[山口会場] 山口県立美術館 2026 年 4 月 28 日 (火) ~ 6 月 21 日 (日)
- 展覧会特設サイト | <https://www.swedishpainting2026.jp/>
- 公式 SNS | X : @swedish2026  
Instagram : @swedish2026
- お問合せ | 愛知県美術館 052-971-5511 (代)
- アクセス | 〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2  
地下鉄東山線・名城線「栄」駅 / 名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、オアシス 21  
連絡通路利用徒歩 3 分

## ■見どころ

### 1. 100%スウェーデン！

展示作品はすべてスウェーデン人作家によるもの。スウェーデンならではの厳しくも豊かな自然や、日常へのあたたかなまなざしが作品のなかで表現されています。「自然」「光」「日常のかがやき」といったキーワードから、現代のスウェーデンを象徴するウェルビーイングな暮らしのルーツを読み解いていきます。

### 2. 新たな表現を切り拓いた芸術家たちのまなざし

19世紀後半、スウェーデンの画家たちは自国のアイデンティティを示す画題と、その表現にふさわしい方法を模索しました。画家たちはフランスで学んだレアリズムや自然主義から離れ、自身の感情や叙情的な雰囲気重視した、独自の表現方法を築き上げます。この1880年代から1915年にかけての時期は、スウェーデン絵画の「黄金時代」と言われています。

### 3. 近年世界的に注目を集める、スウェーデン絵画に特化した展覧会

近年、スウェーデン絵画はフランスやアメリカなどスウェーデン国外でも大規模な展覧会が開催され、世界的な注目を集めています。本展はスウェーデン国立美術館の全面協力のもと、約80点の作品でスウェーデン絵画の黄金時代を紹介する、日本初の展覧会です。展示作品のなかには、同国の国民的画家カール・ラーション、劇作家としても知られるアウグスト・ストリンドバリなど、今世界的に評価の高まっている画家たちの作品も含まれています。

Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum



スウェーデン国立美術館

### Nationalmuseum, Stockholm

スウェーデン国立美術館は、1792年に同国の首都ストックホルムに開館した、ヨーロッパで最も歴史のある美術館の一つです。スウェーデン王室のコレクションにルーツを持つ同館の収蔵品は、絵画、彫刻、素描、版画、そして中世初期から現代にいたる工芸、デザイン、肖像画などで構成されています。現在美術館が入る建物は、1866年に竣工し、階段壁面のフレスコ装飾は本展出品作家であるスウェーデンの国民的画家カール・ラーションが手掛けました。



## ■ 展示構成

### I スウェーデン近代絵画の夜明け

芸術を志す者の多くが学んだスウェーデン王立美術アカデミー。1850年頃になると、画家たちはドイツのデュッセルドルフ派の劇的な表現を取り入れながら、北欧の歴史や神話を主題とする絵画を制作しました。

ニルス・プロメール《草原の妖精たち》1850年 油彩、カンヴァス  
Photo: Cecilia Heisser/Nationalmuseum



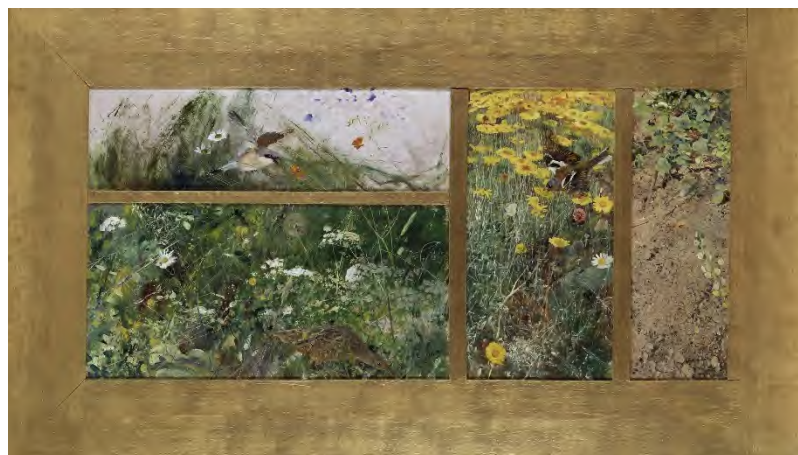
### II パリをめざして ——フランス近代絵画との出会い

1870年代後半にフランスに渡った若い画家たちは、現実世界の観察に基づく絵画の表現に魅了されました。戸外での制作を通じて、画家たちは外光表現を身につけ、印象派にも接近していきます。

ヒューゴ・サルムソン《落穂拾いの少女》1880年代初頭 油彩、カンヴァス  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

### III グレ=シュル=ロワンの芸術家村

パリ郊外に位置する小村グレ=シュル=ロワン。この素朴で穏やかな田舎の村に集ったスウェーデンの画家たちは、田園生活を送りながら光にあふれる牧歌的な絵画を制作しました。



ブリューノ・リリエフォッシュ《4種の鳥の習作（セアカモズ、ウズラクイナ、ズアオアトリ、キタヤナギムシクイ）》1887年 油彩、板（左上）、カンヴァス（その他）  
Photo: Erik Cornelius / Nationalmuseum

#### IV 日常のかがやき——“スウェーデンらしい”暮らしのなかで

自らの国独自の芸術を創出する必要性を感じ始めた画家たちは、1880年代末までには故郷に帰り、身近なモチーフへと目を向けました。また、近代化の陰で失われつつあった伝統的な暮らしや、民俗文化なども取り上げました。



カール・ラーション《カードゲームの支度》1901年  
油彩、カンヴァス  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum



アンデシュ・ゾーン《故郷の調べ》1920年  
油彩、カンヴァス  
Photo: Viktor Fordell / Nationalmuseum



#### V 現実のかなたへ——見えない世界を描く

フランスから帰国した画家たちの中には、感情や気分といった自身の内面の表現に関心を寄せる者、また精神的な危うさを絵画に投影しようとする者も現れました。北欧神話やおとぎ話なども、神秘的なイメージを生み出す源泉となっていくます。

アウグスト・ストリンドバリ《ワンダーランド》1894年 油彩、厚紙  
Photo: Erik Cornelius / Nationalmuseum

#### VI 自然とともに ——新たなスウェーデン絵画の創造

かつて「描くべきものがない国」とさえ言われたスウェーデン。しかし画家たちは様々な表情を見せる豊かな自然にこそスウェーデンらしさを見出し、独自の色彩感覚や構図で描き出しました。

グスタヴ・フィースタード《冬の月明かり》1895年  
油彩、カンヴァス  
Photo: Hans Thorwid / Nationalmuseum



## ■関連イベント

### 記念講演会

「北欧絵画における風景画—スウェーデンの画家を中心に」

〔日時〕 7月12日(日) 13:30-15:00 (13:00 開場)

〔講師〕 佐藤直樹氏 (東京藝術大学美術学部教授)

〔会場〕 アートスペース A (愛知芸術文化センター12 階)

〔定員〕 先着 180 名

聴講無料、事前申し込み不要。開始時刻までに会場にお集まりください。

### スライドトーク (学芸員による展示説明会)

〔日時〕 7月25日(土)、8月15日(土)、9月20日(日) 各回 11:00-11:40  
9月4日(金) 18:30-19:10

〔会場〕 アートスペース A (愛知芸術文化センター12 階)

〔定員〕 各回先着 180 名

聴講無料、事前申し込み不要。開始時刻までに会場にお集まりください。

## ■展覧会公式図録

近年、世界的に注目を集めるスウェーデン絵画。

その黄金期と呼ばれる時代の珠玉の作品を、美しいカラー図版と充実した解説でご紹介します。日本ではこれまで紹介されることの少なかったスウェーデンの画家たちの魅力とその創作の背景を知ることができる貴重な一冊です。

\* 出品作品は全てカラー図版で掲載／作品解説つき

\* スウェーデン絵画をより深く知るためのコラムを多数収録

〔価格〕 3,300 円(税込)

〔判型〕 A4 変形、248 ページ

〔編集〕 東京都美術館、山口県立美術館、愛知県美術館、NHK、NHK プロモーション

〔執筆〕 パール・ヘッドストゥルム (スウェーデン国立美術館展覧会部門ディレクター)

カール・ヨーハン・オルソン (スウェーデン国立美術館 19 世紀絵画担当学芸員)

小林明子、中江花菜 (東京都美術館)

萬屋健司、一宮文香 (山口県立美術館)

白鞘南海 (愛知県美術館)

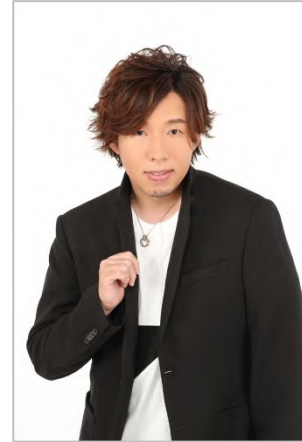


## ■音声ガイド

ナビゲーター JUJU さん



ナレーション 日野聡さん



ナビゲーターを務めるのは、NHKの番組「世界はほしいモノにあふれてる」のMCとして、北欧の雑貨や文化の魅力に触れてきたJUJUさん。声優・日野聡さんのナレーションとともに、スウェーデン絵画の魅力に迫ります！

JUJUさんからのメッセージ

私にとって憧れの北欧!!その中でもスウェーデンは特に行ってみたい国なのですが、今回絵画を通してスウェーデンに触れられることをとても嬉しく思っております。

「スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」の音声ガイドとして、みなさんとこの旅をご一緒できることが今からとても楽しみです。

素晴らしい絵画と共によろしければ音声ガイドも聞いてみてくださいませ。

JUJU

JUJUさんプロフィール

2004年メジャーデビュー。18歳で単身渡ったNew Yorkで、JAZZ / HIP HOP / CLUB MUSIC / SOULなど、様々な音楽カルチャーに触れてシンガーとしてのキャリアをスタートする。「奇跡を望むなら...」「やさしさを溢れるように」など数多くのヒット曲をリリースしながら、邦楽カバー・アルバム『Request』シリーズやジャズ・アルバム『DELICIOUS』シリーズなど、歌で"物語"を伝える歌手として、ジャンル・洋邦・世代を超えて名曲を歌い継ぐライフワークも注目を集める。3月18日には洋楽カバーアルバム「昭和洋楽 純喫茶 JUJU 『時間旅行』 produced by 松任谷正隆」をリリースし、6月からはアルバムを携えた全国ホールツアー「純喫茶 JUJU 『時間旅行』 演出：松任谷正隆」を開催。

日野聡さんプロフィール

アクセルワン所属。主な出演作として、『オーバーロード』アインズ・ウール・ゴウン/モモンガ 役、『鬼滅の刃』煉獄杏寿郎役、『ハイキュー!!』澤村大地役、『とんでもスキルで異世界放浪メシ』フェル役、『呪術廻戦』加茂憲紀役などがある。アニメ作品への出演の他、吹替、ナレーションなど多方面で活躍中。

## 料金

会場レンタル版：1台 650円（税込）

アプリ配信版（iOS/Android）：700円（税込）

※配信期間：展覧会開催期間中

※会場レンタル版とアプリ配信版の収録内容は同一です。

## ■観覧料

	一般	大学生	高校生	中学生以下 無料
通常前売券	1,800 円	1,000 円	500 円	
当日券	2,000 円	1,200 円	700 円	

※20名以上の団体は通常前売券の料金でご入場いただけます。

※本展のチケットで会期中に限りコレクション展もご覧になれます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳（愛護手帳）、特定医療費受給者証（指定難病）のいずれかをお持ちの方とその付き添いの方（1名）は無料でご覧になれます。当日会場で各種手帳（ミライロID可）または特定医療費受給者証（指定難病）をご提示ください。

※学生・生徒の方は当日会場で学生証（生徒手帳）をご提示ください。

※複数の割引の併用はできません。

※いかなる理由でも、主催者の責によらないチケットご購入後のキャンセル、払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。

※転売を禁じます。転売されたチケットは無効となり、入場できない場合があります。また、返金等の対応はいたしかねます。

[販売期間] 通常前売券：4月24日(金)～7月8日(水)

当日券：会期中

[販売場所] Boo-Woo チケット、ローソンチケット(Lコード：40101)、チケットぴあ(Pコード：687-448)、セブンチケット(セブンコード：115-092)、イープラス、ART PASS、主なコンビニエンスストア、主要プレイガイド、愛知県美術館チケット売場、中日新聞販売店 など

## 先行前売券

いずれも数量限定。規定の枚数に達し次第、販売終了。

●**スウェーデン絵画展×スウェーデン・テキスタイル展 ダブルチケット** 一般 2,500 円 (税込)

名古屋で200%スウェーデン！「スウェーデン・テキスタイル 暮らしと自然に息づく北欧デザイン」(7月11日～9月6日、名古屋市美術館)と本展の2つの展覧会をご覧いただけるお得なチケットです。

「スウェーデン・テキスタイル」展の当日券(一般)は1,900円。各展覧会の当日券(一般)を1枚ずつ買うより1,400円お得！

※各展覧会の会期中、それぞれ1回ずつ観覧可能。

●**ペアチケット** 一般 2,400 円 (税込)

通常前売券(一般)が2枚組になったお得な割引チケットです。

当日券(一般2枚)より1,600円お得！

※ペア券は2枚発行。2枚同日、もしくはそれぞれ異なる日でも利用できます。

●**7月限定チケット** 一般 1,200 円 / 大学生 700 円 / 高校生 300 円 (すべて税込)

7月9日(木)～7月31日(金)(ただし休館日を除く)の期間入場可能な割引チケットです。

会期前半のご来場でお得に観覧！

●オリジナルコスチュームキューピーセットチケット

一般 2,600円(税込)



スウェーデンの公式民族衣装をまとった、オリジナルコスチュームキューピーがセットになったチケットです。青いワンピースに黄色いエプロン、白い帽子が特徴。まさに 100%スウェーデン! スウェーデンの魅力を詰め込んだ可愛い本展限定のキューピーです。

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

※オリジナルコスチュームキューピーは、本展の開館日・開館時間に限り、会場内特設ショップでの引き換えとなります。

※オリジナルコスチュームキューピーは会場の特設ショップでも販売します(税込 1,320円)。

- ・本体サイズ 約 W27×H36×D16mm
- ・素材 本体/ATBC-PVC
- ・生地/ポリエステル
- ・ストラップ/ポリエステル 鉄
- ・製造国 日本

○ダーラナホースあみぐるみセットチケット

一般 5,000円(税込)



スウェーデンの「幸せを運ぶ馬」とされる伝統工芸品、ダーラナホースのあみぐるみがセットになったチケットです。北欧の温かみをあらかず赤色のダーラナホースのあみぐるみです。

※ご購入いただけるのは、1名様1枚までとなります。

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

※ダーラナホースあみぐるみは、本展の開館日・開館時間に限り、会場内特設ショップでの引き換えとなります。

※既定の枚数に達しなかった場合、会場の特設ショップでも販売します。(税込 3,850円)

- ・本体サイズ 約 W35×H90×D80mm

○スウェーデン絵画展×ミナペルホネン特製バッグ fred セットチケット

(マスタード/ブルーグレー)

一般 各 6,600円(税込)



スウェーデン語で「平和」を意味する「fred (フレッド)」と名付けられた、皆川氏描き下ろしのダーラナホースがプリントされた本展限定の特製バッグがセットになったチケットです。刺繍で施された蝶々のマークがワンポイントになっています。

※ご購入いただけるのは、1名様1枚までとなります。

※チケット1枚とどちらかのバッグ1つがセットとなります。

ご希望の色をチケット販売ページにてお選びいただけます。

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

※特製バッグは、本展の開館日・開館時間に限り、会場内特設ショップでの引き換えとなります。

※既定の枚数に達しなかった場合、会場の特設ショップでも販売します。(税込 4,950円)

- ・本体サイズ 約 W305×H360×D50mm

[販売期間] ●印のチケット 2月10日(火) 10:00～上限に達するか7月8日(水) 23:59まで

○印のチケット 4月24日(金) 10:00～上限に達するか7月8日(水) 23:59まで

[販売場所] Boo-Woo チケット、ローソンチケット(Lコード①ダブルチケット:40100②他:40101)のみ

## 「スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」展 広報用画像申込書

※ご掲載にあたっての注意事項

- ・本展広報用画像の使用は展覧会の紹介を目的としたものに限らせていただきます。  
ご使用可能期間は本展覧会終了までです。ご使用后、申請した画像は必ず破棄してください。
- ・ご使用の際は、展覧会名、会期、会場（「スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」、2026年7月9日（木）－10月4日（日）、愛知県美術館）を明記してください。
- ・ご使用の際は下記のキャプション情報（作家名、作品名、制作年、所蔵者名、フォトクレジット等）を全てご掲載ください。
- ・画像は全て全図でご使用ください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・展覧会情報の確認のため、校正原稿を以下の問い合わせ先に FAX またはメールでお送りください。
- ・掲載誌（紙）、録画 DVD 等を事務局宛に1部ご惠贈願います。ウェブ媒体の場合は掲載 URL をお知らせください。

ご希望の画像番号： \_\_\_\_\_

媒体名： \_\_\_\_\_

ジャンル： \_\_\_\_\_

掲載・放送予定日： \_\_\_\_\_

貴社名： \_\_\_\_\_

ご担当者名： \_\_\_\_\_

E-mail： \_\_\_\_\_

所在地：〒 \_\_\_\_\_

電話： \_\_\_\_\_

### 問い合わせ先／校正原稿等の送付先

広報に関すること（担当：中村）

展覧会に関すること（担当：白鞘、鶴尾）

愛知県美術館

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

TEL: 052-971-5511（代）

FAX: 052-971-5617

E-mail: press-apmoa@apm.or.jp

（※昨年からのメールアドレスが変更となっております）

「スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」展  
広報用画像



1



2



3



4



5



6



7 \* 愛知会場のみ出品



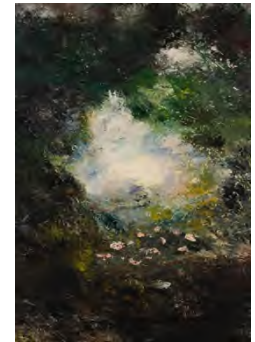
8



9



10



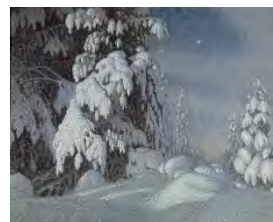
11



12



13



14



15

1. ニルス・ブロメール 《草原の妖精たち》1850年 油彩、カンヴァス  
Photo: Cecilia Heisser / Nationalmuseum
2. ヒューゴ・サルムソン 《落穂拾いの少女》1880年代初頭 油彩、カンヴァス  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum
3. アーンシュト・ヨーセフソン 《少年と手押し車》1880年 油彩、板  
Photo: Nationalmuseum
4. イエーオリ・パウリ 《レース編み》1885年 油彩、カンヴァス  
Photo: Erik Cornelius / Nationalmuseum
5. ブリュノー・リリエフォッシュ 《4種の鳥の習作（セアカモズ、ウズラクイナ、ズアオアトリ、キタヤナギムシクイ）》1887年 油彩、板（左上）、カンヴァス（その他）  
Photo: Erik Cornelius / Nationalmuseum
6. カール・ラーション 《カードゲームの支度》1901年 油彩、カンヴァス  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum
7. カール・ラーション 《アトリエ（『ある住まい』より）》1894-1899年 水彩、紙  
Photo: Erik Cornelius / Nationalmuseum
8. アンデシュ・ソーン 《故郷の調べ》1920年 油彩、カンヴァス  
Photo: Viktor Fordell / Nationalmuseum
9. グスタヴ・アンカルクローナ 《太古の時代》1897年 油彩、カンヴァス  
Photo: Åsa Lundén / Nationalmuseum
10. アーンシュト・ヨーセフソン 《水の精（ネッケン）》1882年 油彩、カンヴァス  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum
11. アウグスト・ストリンダバリ 《ワンダーランド》1894年 油彩、厚紙  
Photo: Erik Cornelius / Nationalmuseum
12. オーロフ・アルボレーリウス 《ヴェストマンランド地方、エンゲルスバリの湖畔の眺め》  
1893年 油彩、カンヴァス  
Photo: Cecilia Heisser / Nationalmuseum
13. カール・ノードシュトゥルム 《チューン島のホーガ盆地》1897年 油彩、カンヴァス  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum
14. グスタヴ・フィエースタード 《冬の月明かり》1895年 油彩、カンヴァス  
Photo: Hans Thorwid / Nationalmuseum
15. オット・ヘッセルボム 《夏の夜（習作）》1900年頃 油彩、カンヴァス  
Photo: Cecilia Heisser / Nationalmuseum

作品はすべてスウェーデン国立美術館蔵

所蔵先として、必ず「スウェーデン国立美術館蔵」の記載をお願いいたします。